

# Smart Data Platform ~DXを成功に導くデータ利活用の最適解~

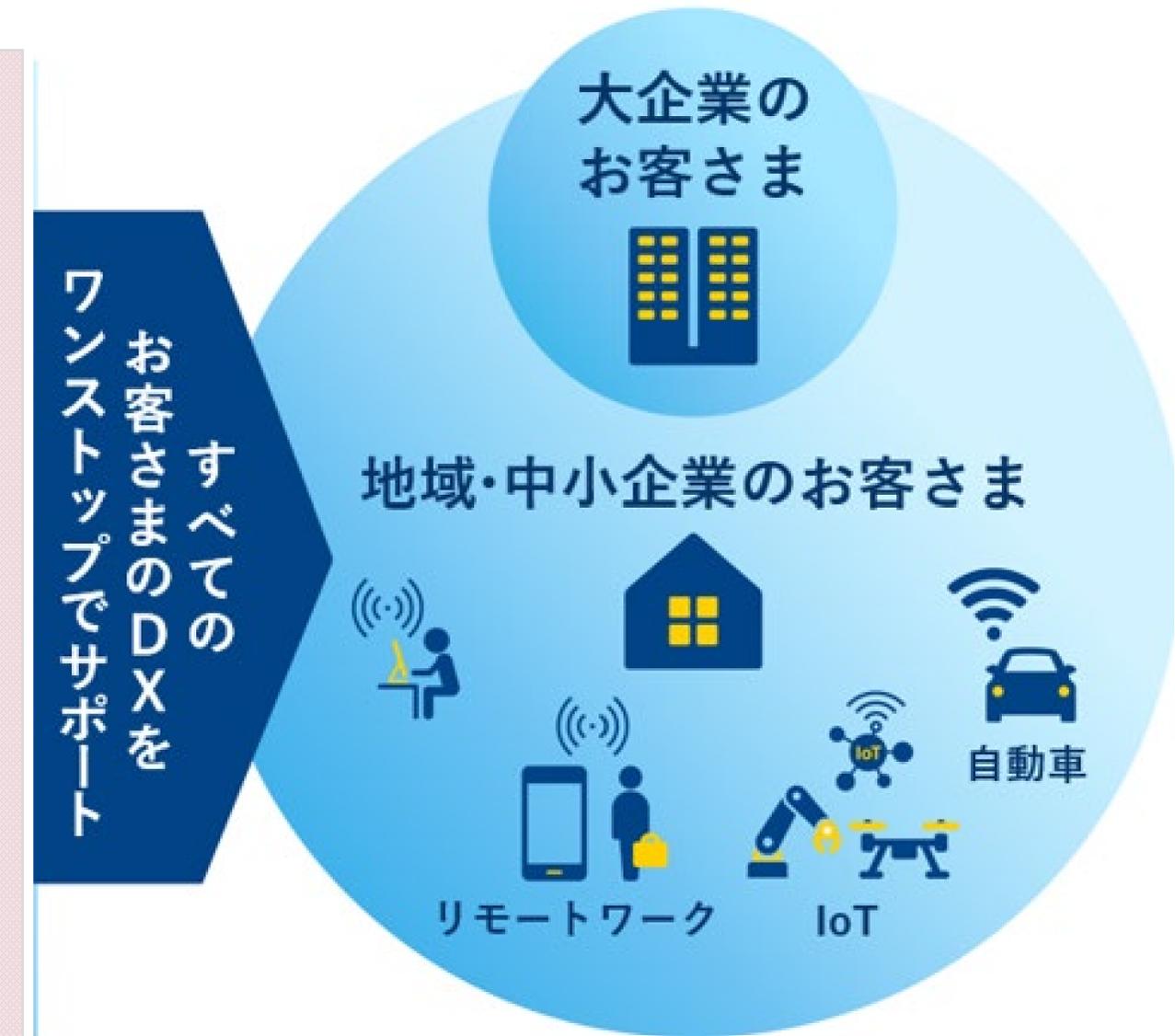


NTTコミュニケーションズ株式会社

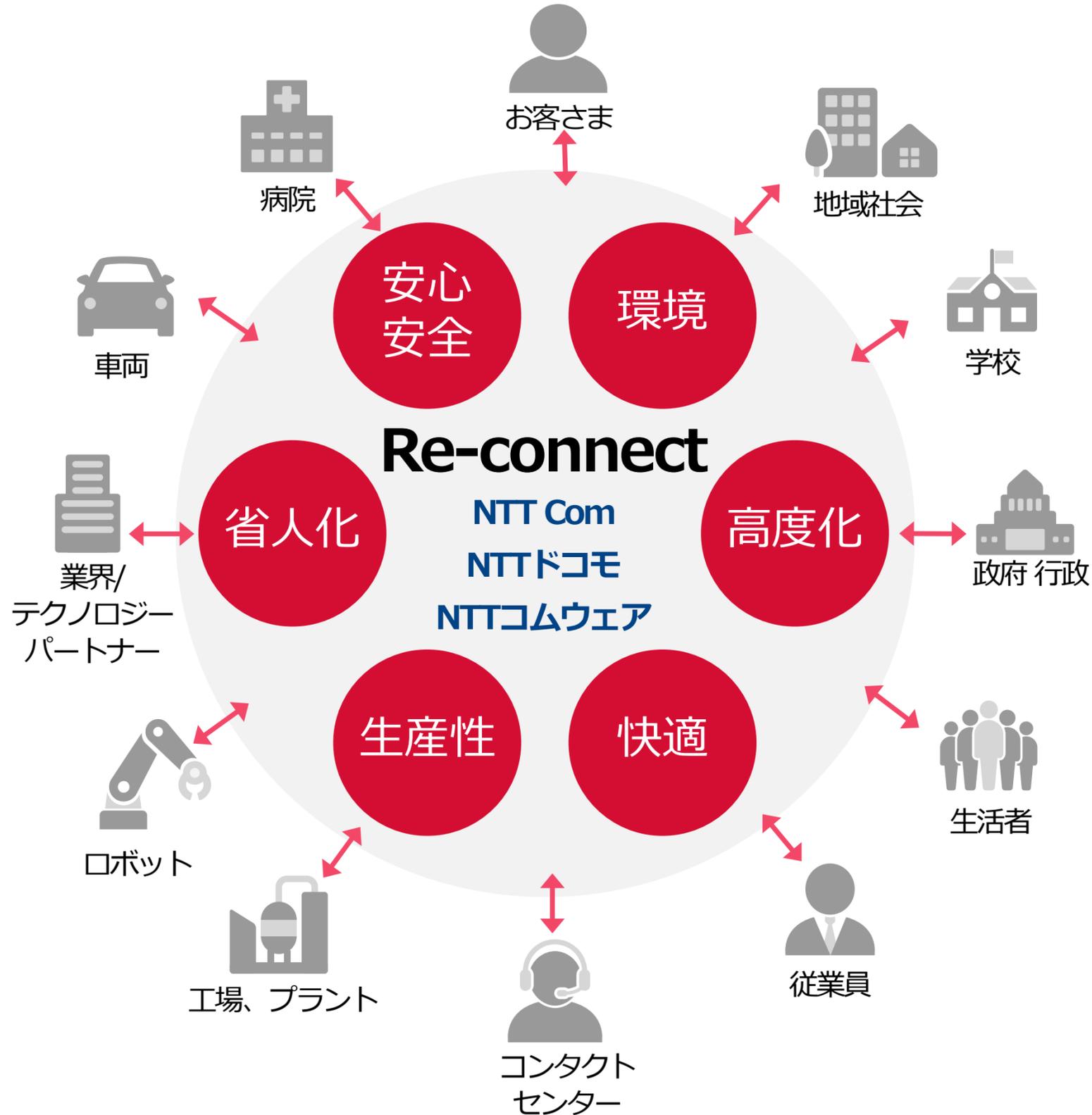
プラットフォームサービス本部データプラットフォームサービス部

# 2022年1月始動 ドコモビジネス

「ドコモビジネス」のもと、各社のケイパビリティを統合することにより、移動固定融合サービス、5G・IoTといった先端ソリューションを通じて、すべての法人のお客さまをワンストップでサポート



# NTTコミュニケーションズの事業ビジョン

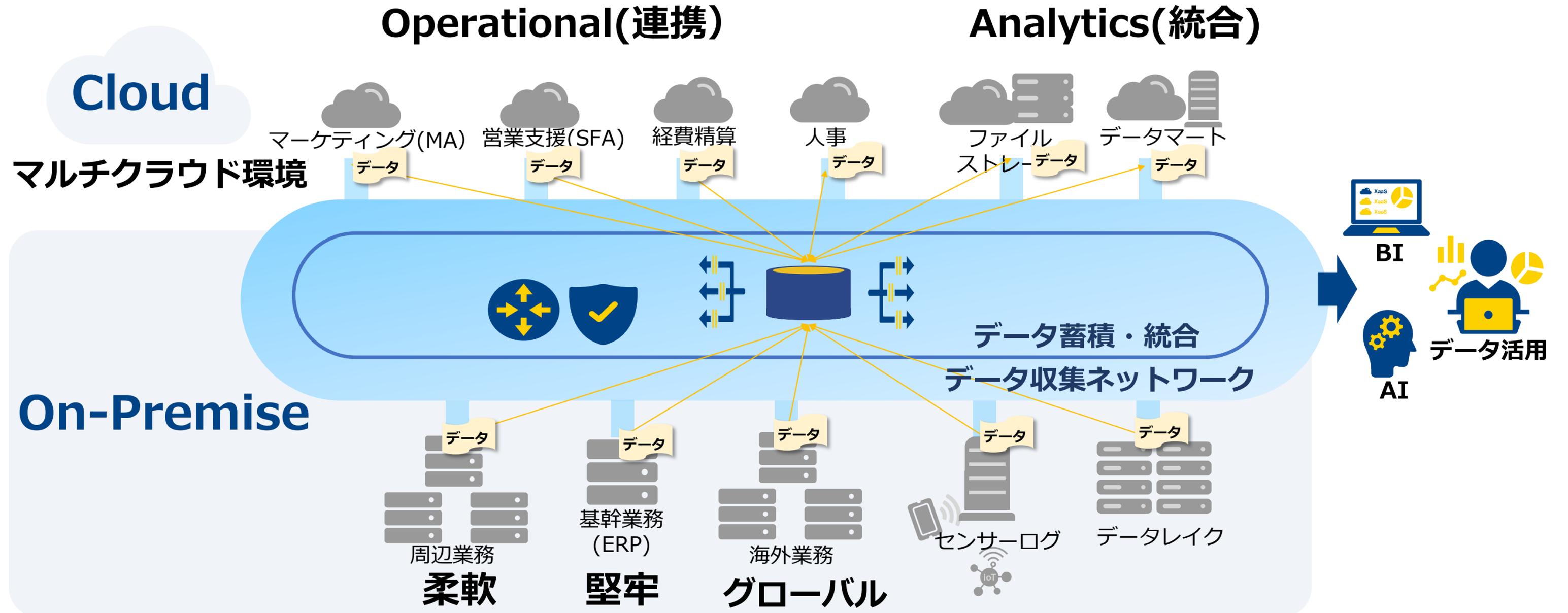


リモートワールドにおける価値を再定義し、  
生活者・ビジネス・社会を  
お客様やパートナーとの共創によって  
安心安全かつ柔軟に「つなぎなおす」ことで、  
サステナブルな未来の実現に貢献

**Re-connect X**<sup>TM</sup>

# データにまつわる課題解決に向けて

散在したデータを業務に活用するためには、安全に利用でき、データの収集、蓄積、統合、利活用まで見据えた、全体最適を想定したデータ利活用基盤が必要です

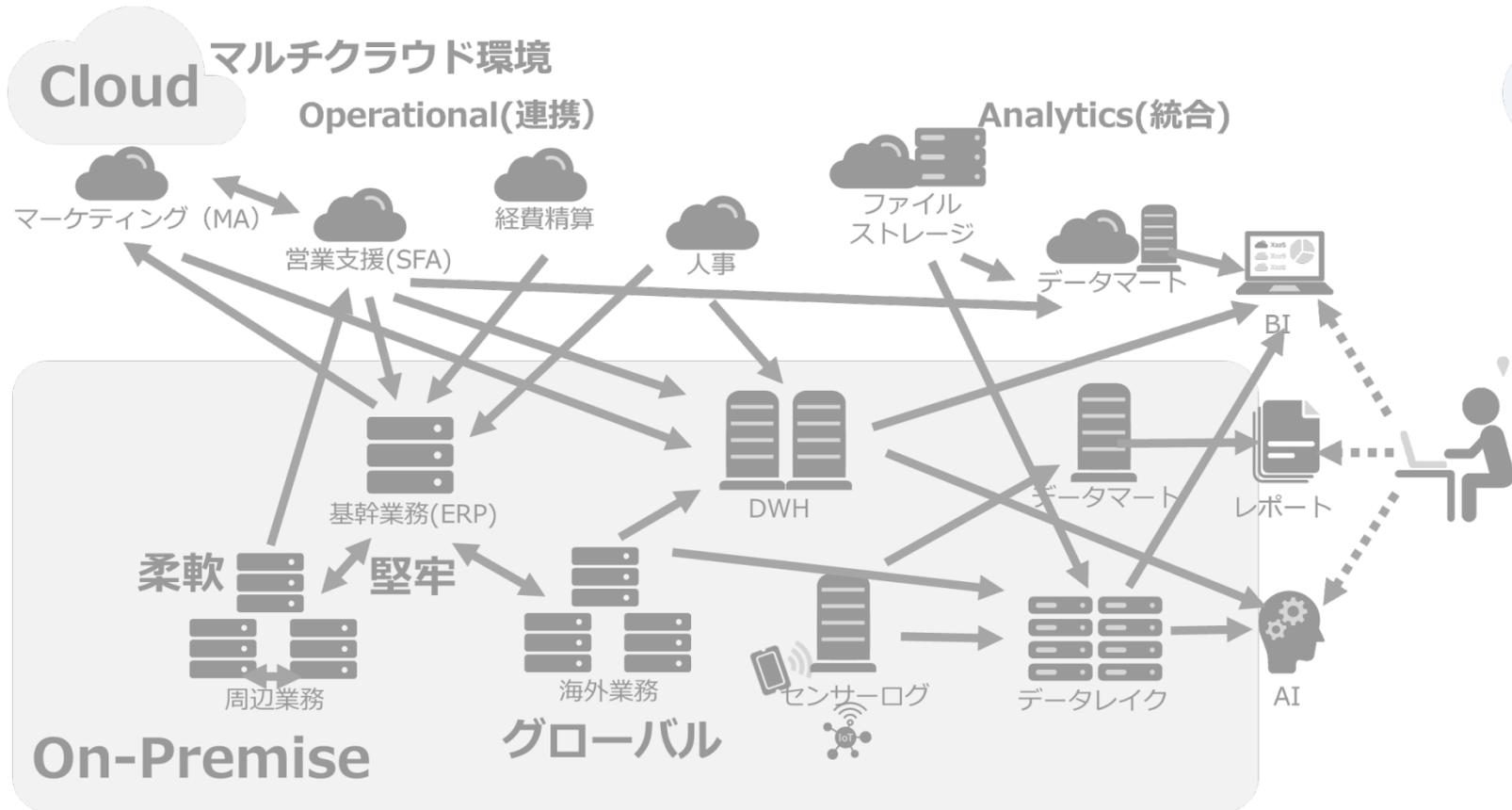


# データ利活用基盤の整備で実現できること

データ利活用基盤を整備することで、シームレスなデータ連携によるデータ利活用の促進とともにデータ流通におけるセキュリティ確保、システム運用の効率化、コスト最適化の実現が可能です

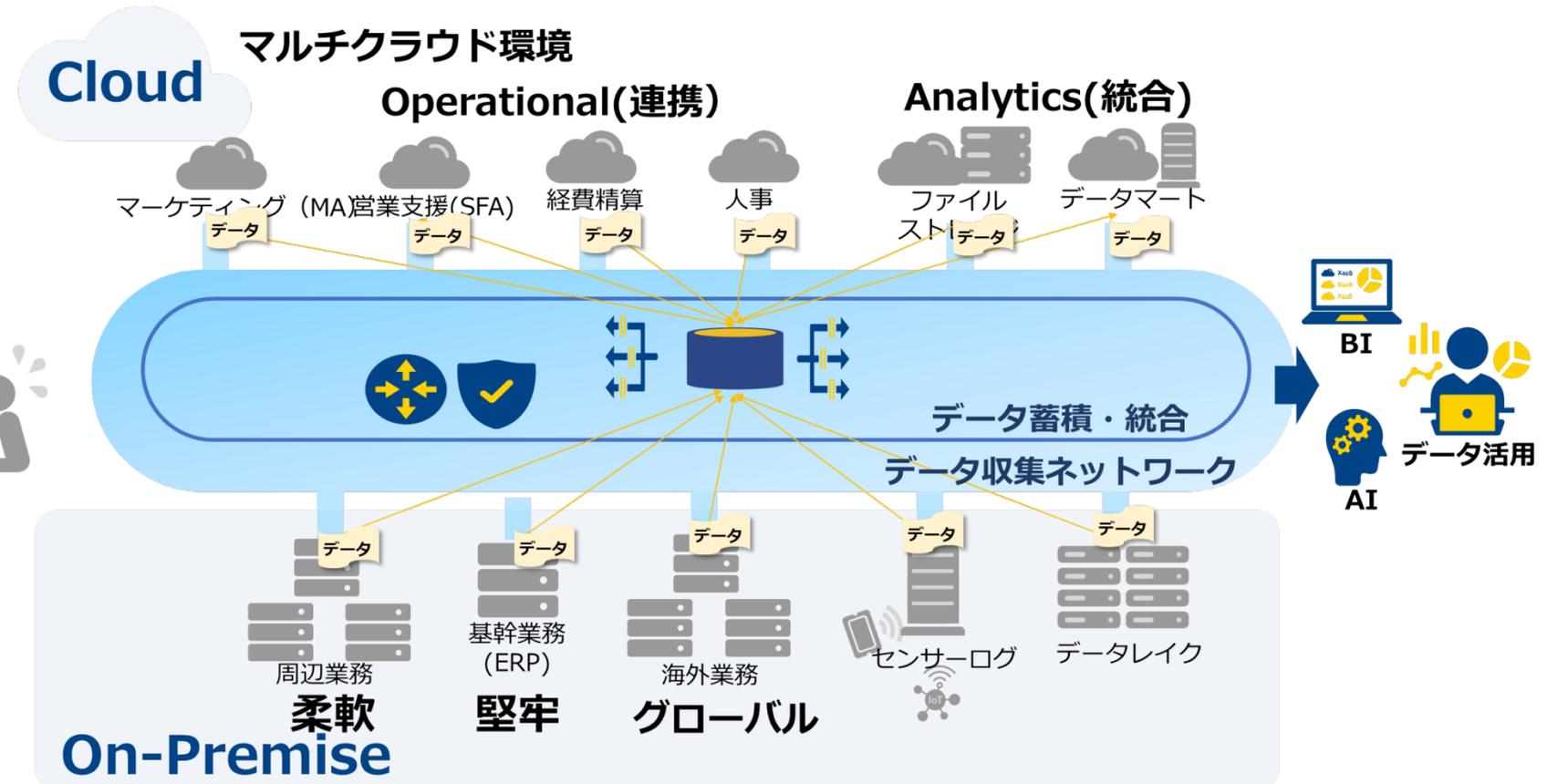
## Before

- オンプレ環境やマルチクラウド環境に、拠点毎、部門毎、プロセス毎、それぞれにおいて個別システムが乱立し連携が困難
- 増え続けるデータ量に対するNW負荷およびデータ流通におけるセキュリティリスクの増大
- 多岐にわたるIT環境の管理運用の複雑化、煩雑化



## After

- 各システムに介入することなく、シームレスな接続、**データ連携をGUI画面上で容易に実現し、現場のデータ利活用を促進**
- 広帯域閉域網での接続やデータの匿名加工による**データ流通におけるセキュリティ確保**
- 一元的な基盤導入による**システム運用効率化、コスト最適化**



# データを中心としたICTインフラの必要性

- ✓ DX実現のためには
- ✓ 社内外で生成&蓄積された**データ**を
- ✓ 柔軟&セキュア&素早く利活用するための
- ✓ ICTインフラが必要

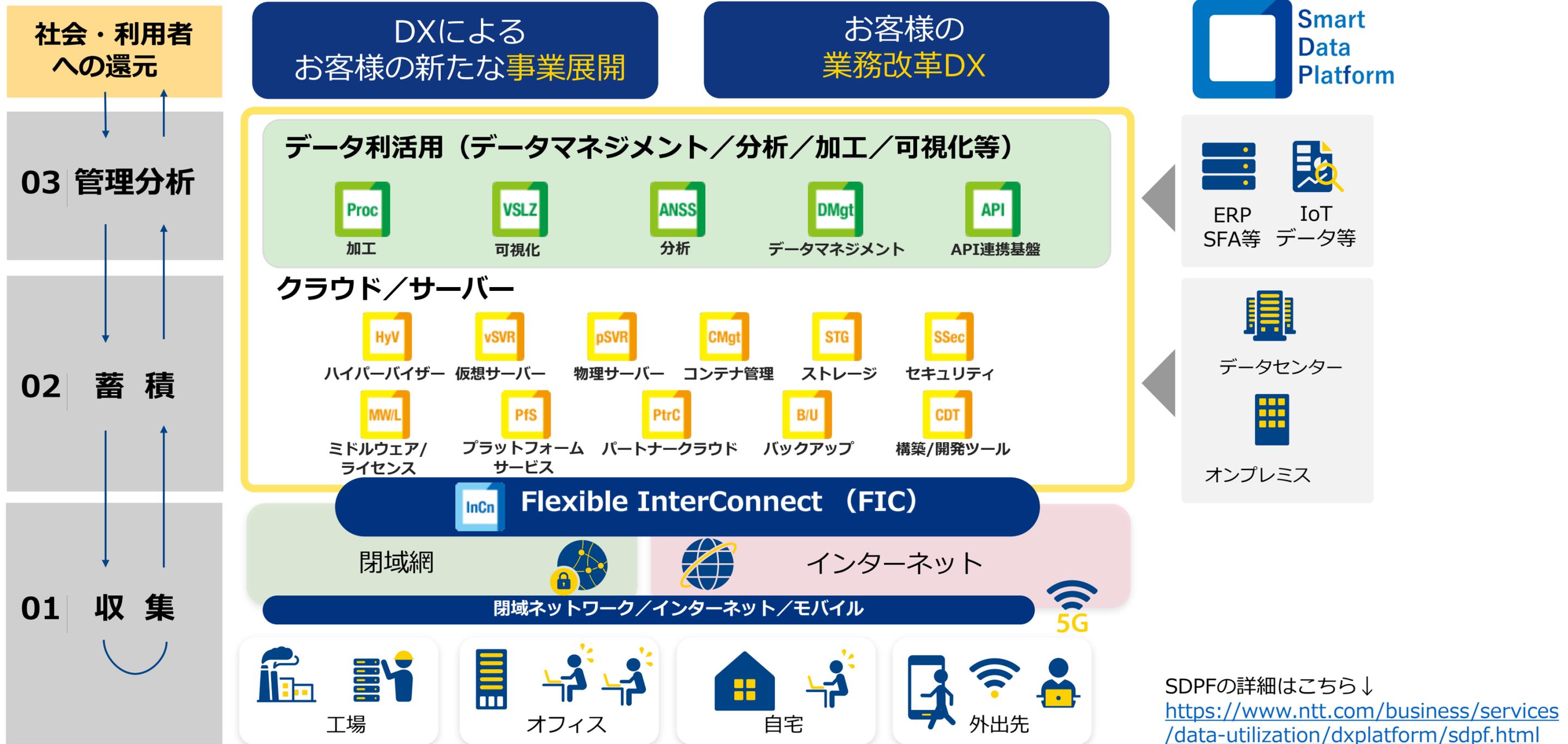




シームレスなデータ利活用を可能とする  
プラットフォーム

# DXを成功に導く「Smart Data Platform (SDPF)」

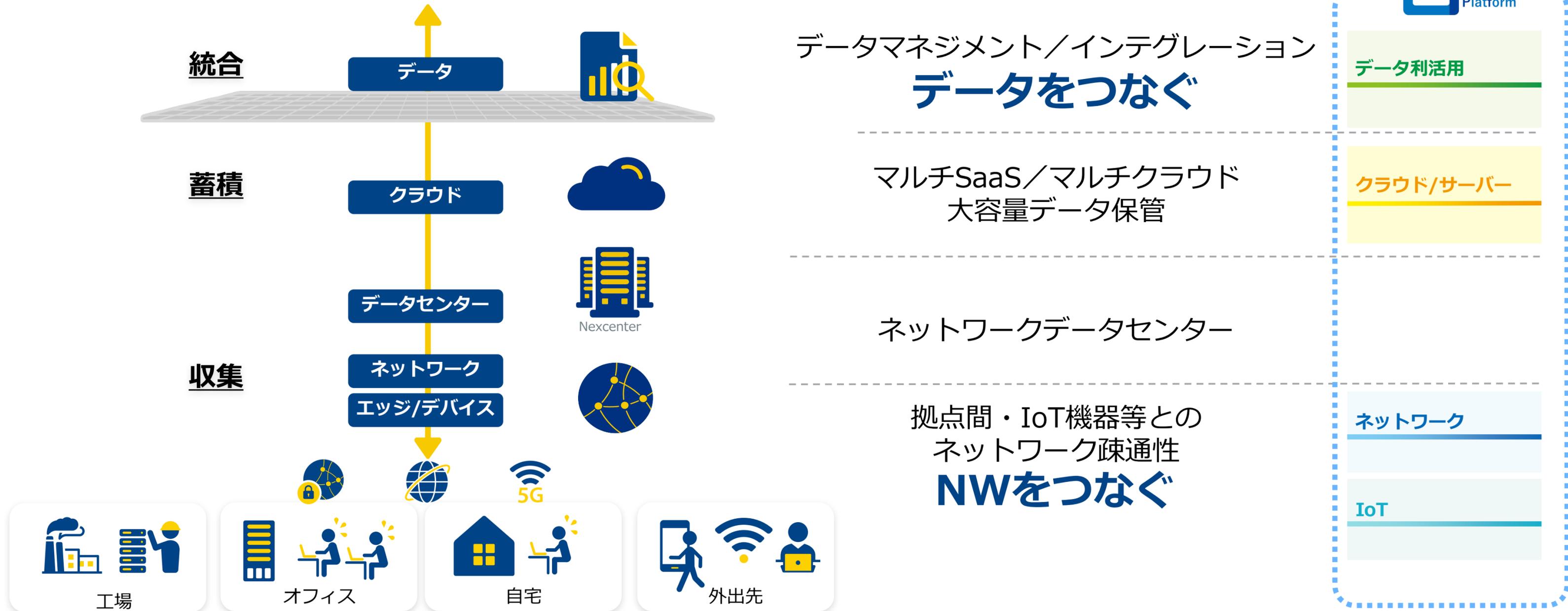
データ利活用に必要な収集、蓄積、管理・分析におけるすべての機能を、ICTインフラも含めてワンストップで提供し、データ利活用によるDX実現を加速させます



SDPFの詳細はこちら↓  
<https://www.ntt.com/business/services/data-utilization/dxplatform/sdpf.html>

# End-Endのデータ活用基盤

データの収集・蓄積・統合において必須となるネットワークやデータセンターなどのアンダーレイヤを長年にわたって信頼される形で構築・提供・運用してきたNTT Comグループが、その強みを生かし、**散在したデータを安心安全につなぎ社会課題の解決やDXを実現します**



# お客さまのビジネス課題（仮説） 解決に向けて

## 市場背景

ITを駆使した  
新規事業者の参入

人口減、団塊の世代の  
退職による労働力減少

インターネット活用や  
SNSの流行による  
世の中の変化の高速化

持続的な成長にはデータを活用することで更なる競争力、スピード感が求められる

テクノロジーによる非連続的イノベーションの実現

ご提案の方向性

## 想定される課題

最新技術を利用した既存  
ビジネスの成長

サプライチェーン最適化  
(需要/供給のリアルタイム把握)

マーケティング・営業力の強化

経営指標のリアルタイム見える化

現場力の  
維持向上に向けた  
プロセス変化

現場のノウハウの継承

お客様対応の高度化・効率化

One to Oneマーケティングの実現

高付加価値  
ビジネスモデルの創出

顧客満足度向上

提携先/買収先企業とのシステム連携

- 2 2 データ収集基盤の提供
- 安価な収集データの保管先の提供
- サイロ化されたシステム間のデータ統合  
(クラウド、オンプレレガシーシステム間など)
- 全社の統合マスタの構築
- 社内のデータの可視化
- 属人的ノウハウのシステム化、AIへの継承
- 故障予知による歩留まり解消/要因分析
- 不良品判定または製品劣化判定
- リードスコアリングによる効率的な営業

データ  
収集  
統合  
蓄積

データ  
分析  
可視化

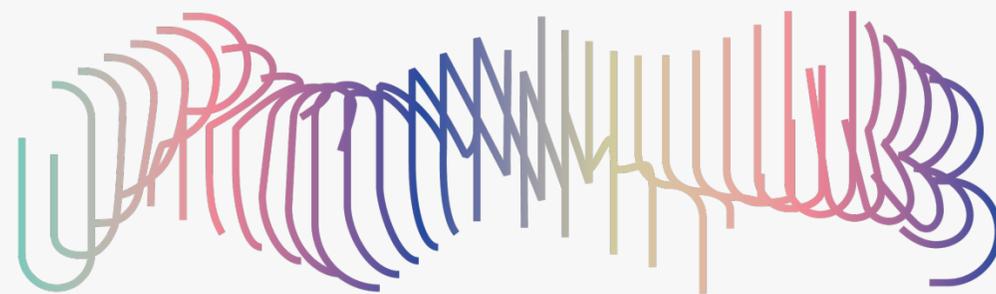
成長戦略



NTTコミュニケーションズオフィシャルサイト  
<https://www.ntt.com>

# OPEN HUB for Smart World

未来をひらく「コンセプトと社会実装」の実験場



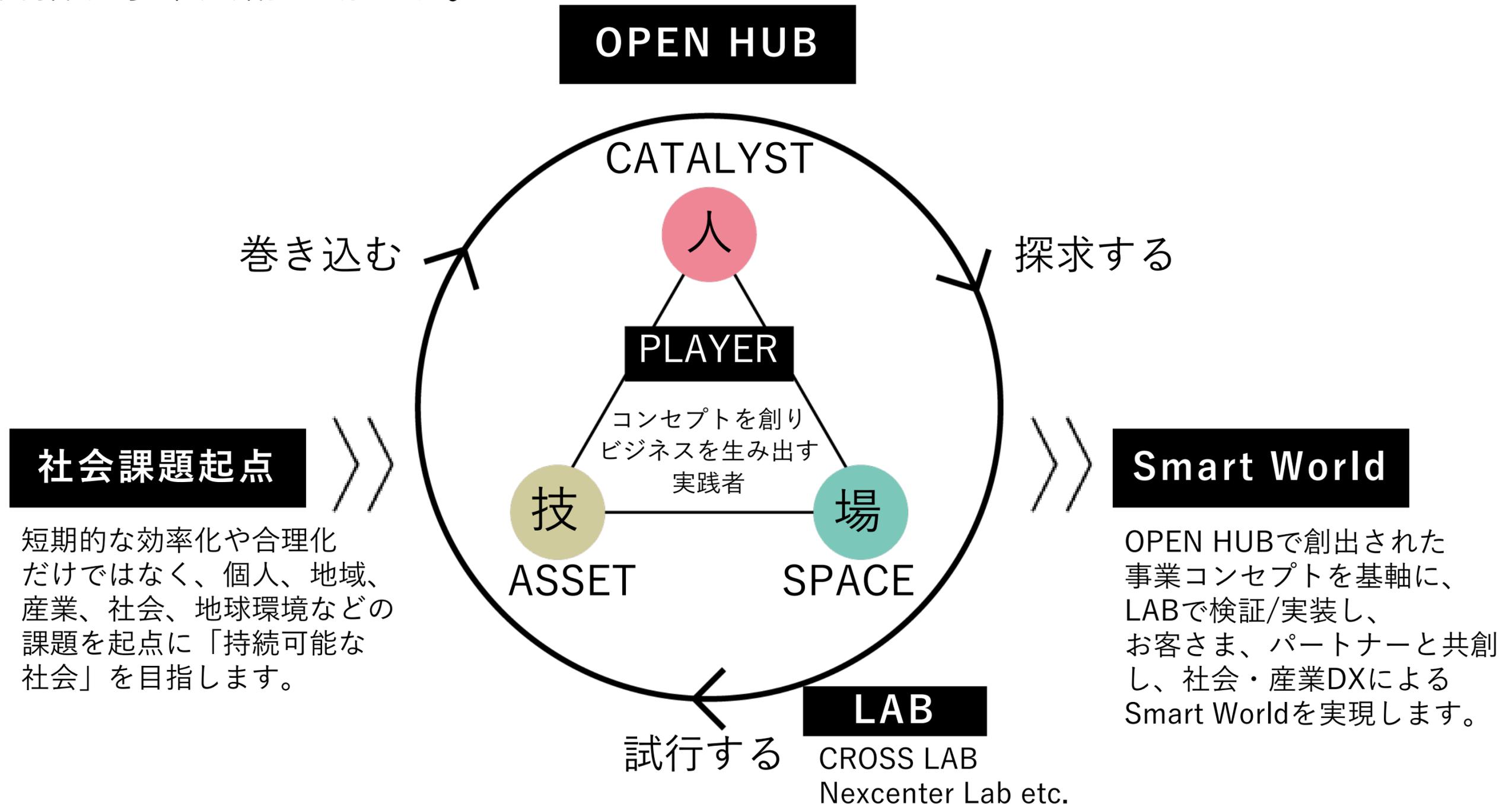
OPEN HUB | for Smart World



<https://openhub.ntt.com/>

# CONCEPT OPEN HUB

わたしたちが豊かで幸せになる未来を実現するための新たなコンセプトを創り、社会実装を目指す事業共創の場です。



# FEATURE 3つの特徴

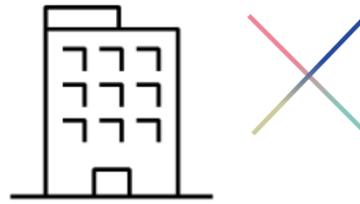
01

## CATALYST

コンセプトを創出する  
「カタリスト × プログラム」

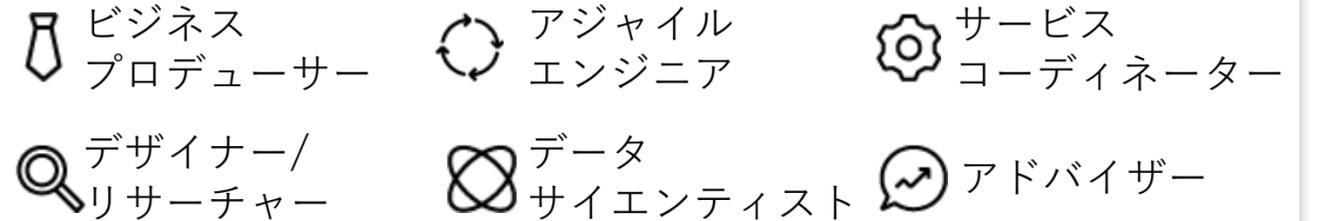
### プレーヤー

企業の皆さま



### カタリスト

総勢200名



02

## ASSET

社会実装を具現化する  
「技術 × 知見」

### NTTグループ



### お客さま・パートナー



03

## SPACE

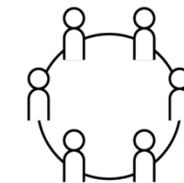
仲間をつなぐ  
「リアル × バーチャル」の場

### リアル



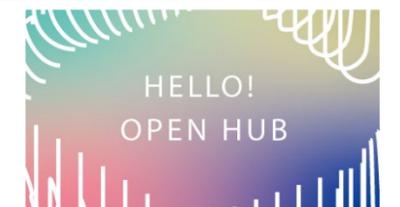
ワークスペース

### OPEN HUB Base



共創するためのコミュニティ

### バーチャル



未来を探究するメディア

<https://openhub.ntt.com/>

# SPACE

リアルな場 2022年2月オープン

→ 「OPEN HUB Park」



創造力を掻き立てる  
スペース



リモートで体験ができる  
テクノロジーを導入



NTTグループの  
イノベーション拠点と連携

## リアルな場で活用できるNTTグループアセット



### Smart Data Platform

「企業のデータ利活用」に必要な機能をワンストップで提供



### 5G

「高速大容量、低遅延、多端末接続」が特徴の無線通信規格



### IOWN

光技術による情報通信基盤



### SDN

堅牢性・柔軟性を兼ね備えたオフィスLANソリューション



### GAIA-X

欧州「GAIA-X」に対応し企業間の安全なデータ流通を実現する国際データ流通プラットフォーム



### FIC (Flexible InterConnect)

オンデマンドで簡単・セキュアに接続可能な次世代インターコネクトサービス

# 2022年2月オープン「OPEN HUB Park」

2022年2月22日

## 新たなビジネス創出の場、最先端技術を備えたワークプレイス 「OPEN HUB Park」開設 ～リアルとバーチャルの垣根を超え、Smart Worldの実現を加速～

NTTコミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）は、最先端技術を備えたワークプレイス「OPEN HUB Park（オープンハブパーク）」を2022年2月22日より大手町プレイスウエストタワー（東京都千代田区）内に開設します。

「OPEN HUB Park」は、2021年10月に開始した事業共創プログラム「OPEN HUB for Smart World」（以下 OPEN HUB）の特長である「人」「技」「場」を最大限活用できる、「OPEN HUB」の中心活動拠点です。「CROSS LAB for Smart City」（以下 CROSS LAB）※1やNTTグループの各種イノベーション拠点とも連携し、社会・産業のデジタルトランスフォーメーションに資する新たなビジネスを創出するとともに社会への実装を加速し、Smart Worldの実現をめざします。

■ 「OPEN HUB for Smart World」 <https://openhub.ntt.com/>



### 1. 「OPEN HUB Park」の概要

「OPEN HUB Park」では、お客さま・パートナーの皆さま同士をはじめ、200名規模の各分野に精通したNTT Com社員および社外の専門家である「カタリスト」が共創し、それぞれの技術や知見を掛け合わせることで、新たなビジネスを創出するとともに社会への実装をめざします。

事業共創プログラムにより生み出されたビジネスや社会実装の成果は、「OPEN HUB Park」内に設置されたスタジオ、2021年10月に開始したオウンドメディア「OPEN HUB Journal」※2を通じて情報発信します。また、ビジネス共創の仲間が集まる活動コミュニティ「OPEN HUB Base」※3と

NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室  
NTT Communications Corporation Public Relations Office  
〒100-8019 東京都千代田区大手町2-3-1 大手町プレイスウエストタワー  
OTEMACHI PLACE WEST TOWER 2-3-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan  
Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

連動し、トークイベントや会員交流イベントを通じてエコシステムを拡大するとともに、新たなビジネスの展開を図ります。



<OPEN HUBの全体感>

### 2. 特長

#### (1) 想像力を掻き立てる体験

新たなビジネスコンセプト創出のインスピレーションを生みだす、さまざまな体験を提供します。

- ① 「OPEN HUB Park」の入り口には没入感のあるデジタルサイネージ「OPEN HUB Monoliths」を設置し、来訪者のインスピレーションを高揚させる体験を提供します。



- ② 共創する企業間で保有するデータを「Smart Data Platform」※4を活用して収集・蓄積・分析し、大画面のLEDモニター「OPEN HUB Visualizer」にビジュアライズしています。ビジュアライズされた映像が、データを活用した新たな価値創造を促します。



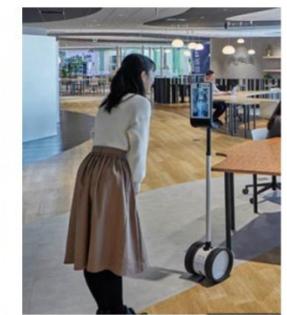
#### (2) 新たな価値創造を生み出す最先端のICTインフラ、テクノロジー

IOWN®や5G、SD-WAN/LANなど最先端のICTインフラを配備し、創出したビジネスコンセプトをお客さま・パートナーの皆さまとともに社会へ実装するためのさまざまな実証実験を行うことができます。

- ① 大容量、低遅延、低消費電力が特長のIOWNオールフォトリソ・ネットワークで「OPEN HUB Park」を含む3拠点を接続し、NTT未来ねっと研究所と共同で、世界初のSMPTE ST 2110による非圧縮8K120p映像伝送実験を実施します。※5
- ② 欧州のデータ流通プラットフォーム「GAIA-X」に接続し、グローバルサプライチェーンにおけるCO2や廃棄物の排出量可視化の環境を用いて、お客さまの産業機器を接続した検証が可能です。
- ③ ローカル5G、パブリック5G、双方のネットワークが利用できる環境を提供します。パブリック5Gは、AGC株式会社と株式会社NTTドコモが共創した、景観を保つ5Gガラスアンテナを屋内に設置しています※6。



① 「OPEN HUB Window」



② 「OPEN HUB Robot Visitors」

2022年2月22日プレスリリース（NTTコミュニケーションズ公式サイト）  
<https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2022/0222.html>